

第360回三木市議会定例会 市長 閉会あいさつ

令和2年9月29日

閉会に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

このたびの定例市議会におきましては、9月1日の開会以来29日間にわたり、地方税法の改正に伴う市民税、市たばこ税の改正や、公立幼稚園の廃止年月日を延長する条例改正等、また、コロナ禍における「新しい生活様式」を取り入れた窓口業務の改善、市税の電子決済による納付方法などの導入、小・中・特別支援学校の児童・生徒が自宅でオンライン学習を進めるための環境の整備などのほか、防災・減災に向けた「ため池ハザードマップ」の作成や農地等の災害復旧など、緊急を要する補正予算、その他人事案件などについて、ご審議をいただきました。

議員の皆さまにおかれましては、終始ご精励を賜り、本会議並びに各常任委員会において、それぞれ慎重なるご審議を尽くされたことに対しまして、敬意を表する次第であります。

おかげをもちまして、このたびの市議会に提案いたしました議案につきましては、適切なるご決定を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

なお、「令和元年度 各会計決算の認定」に係る議案につきましては、決算特別委員会において、引き続き審査をいただくこととなりました。

委員の皆さまには、十分なる審査のうえ、認定をいただきますようお願い申し上げます。

さて、今定例会の冒頭あいさつでも申しましたが、8月15日から9月15日までの1か月間、「三木駅デザイン総選挙」を実施してまいりました。

5,520もの有効投票をいただき、ありがとうございます。その結果につきましては、明日30日に、第5回神戸電鉄粟生線三木駅再生検討協議会において、正式に新駅舎のデザインを決定いたします。

皆さまからいただきました1億円を超える寄附を原資として再生する新駅舎が、新たな三木市の顔となり、未来へと続く本市全体の発展に寄与するシンボルとなることを願ってやまない

ところであります。

「旧駅舎・レトロ風」、「モダン風」、「城下町風」の3案のうちいずれが採用となるか、明日の結果を楽しみにお待ちしておりますようお願いします。

また、もうひとつ市政の話題としまして、今年で3回目となる市政懇談会を、今月16日には口吉川地区、23日には三木南地区において、それぞれ実施いたしました。

残る8地区についても、11月下旬にかけ順次開催してまいります。

昨年までとは違い、今年はコロナ禍ということもあり、会場での3密を避けるため、参加者の間隔を十分確保すること、時間は1時間30分を上限とすること、また傍聴はなしという諸条件を各地区に受けていただく形での開催となっております。

また、書面でのやり取りによる開催も可能としてきたわけですが、すべての地区が書面開催で済ませることなく、これまでどおり対面での開催を希望されております。

市政懇談会は、私の市長就任前から「地域の声を届ける機会がない。」という市民の声をよく耳にしていたことに加えて、地域住民の声を聞くことこそ民主主義の原点であるという私の信

念により実施しているものであります。

区長協議会をはじめとした市民の代表の皆さまにより、地域全体の課題を洗い出し、整理し、行政とともに膝を交えて協議を重ね、課題解決を図っていくという住民自治本来の姿が、回を重ねるごとにしっかりと根付いてきたことを実感し、うれしく思っております。

各地区から出てきております意見や要望につきましては、直ちに解決が困難な事案も多く含まれておりますが、課題解決に向け一歩でも前進できるよう、引き続き、市民と行政とが一体となった市政運営に努めてまいります。

朝夕はめっきり涼しくなり、昼夜の寒暖差が大きい季節となっております。議員の皆さまにおかれましては、くれぐれも健康にご留意をいただき、引き続き、市政の発展のためにご活躍くださいますようお願いを申し上げ、閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。